

三養基 山 二部以上八部 十年 三月

高 田 四部以上五部 同 一部解決

早番凶作のため米組織農民大衆の自然發生的起ち上りの情勢にありながら、激発闘争を油じ組織を拡大せしむることについて、多くの成功を収むることが出発す、只福岡早良地区に於て大橋、老河、百津、平尾の四支部、筑紫地区に於て牛島、下白水の二支部、三養基地区に於て畑比支部、糸島郡に於て深江支部合計八支部を組織し、向は三養基地区に於て、小倉、水原二支部の再組織を見たるに過ぎなかつた。以上の如く組織に於て充分の成果を収めるとの出来なかつたのは、本部の手不足も原因するが、米組織大衆の起ち上るのを恐れた地主、警察が、小作米穀額を課する「農村協同會」なる

ものを急造し、率先して僅かばかりの小作米穀額をなし米組織大衆の出身を控ぎ、大衆の社会加入を嘆ひ止めんとする活動に觸ひされ、若々の旗を所期の如く押し進めることか出来なかつたことによるのである。

ロ、土地取上反闘闘争

土地は小作人の生命である。土地を離れた小作人は丹なき漁夫の如く何によつて命を繋いで行くことか出来るか土地を返せと言ふのは小作人に死を強要すると同じだ。土地は小作人の生命だ、若々が地主の土地取上に反對し小作人に安心して土地を作らせるとの要求は、活きる権利のための正當にして眞實なる要求だ、この故に如何に欲望なる土地取上げに對しても、若々は常に木米行動を以て闘つてゐる